今年度も受診率の向上が課題

府医療保険者協議会

６月２２日、府国保連合会で、京都府医療保険者協議会が開催された。

片田住夫前会長の退職に伴い、後任の会長に府国保連合会の・田・昭副理事長が就任した。引き続き、事務局より平成２３年度の本協議会開催状況、特定健診・特定保健指導に係る集合契約の状況及び作業部会開催状況、生活習慣病等予防対策部会、疾病動向等調査分析部会開催状況、特定健診・特定保健指導事業従事者養成研修の開催状況、特定健診受診促進啓発活動状況について、また同年度歳入歳出決算の認定について報告がありすべて承認された。

報告事項として平成２４年度特定健診・特定保健指導集合契約、平成２４年度本協議会事業について説明があった。

また厚生労働省より、特定健診・特定保健指導における後期高齢者医療保険への加算・減算のペナルティについて、未実施のところには加算されるが、実施しているところには行わないという方針が示されたが、受診啓発の積極性を妨げるものではなく、加入者の健康保持・増進のために今後も協議会で受診促進を行っていくという共通認識を確認した。